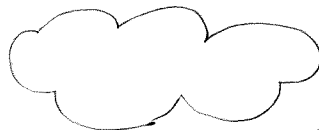
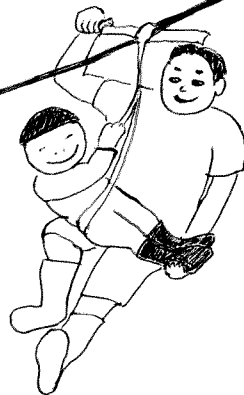
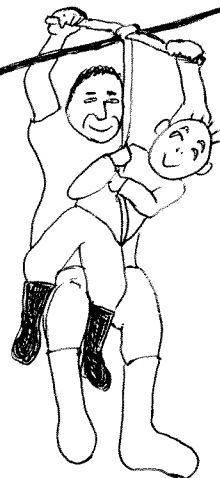
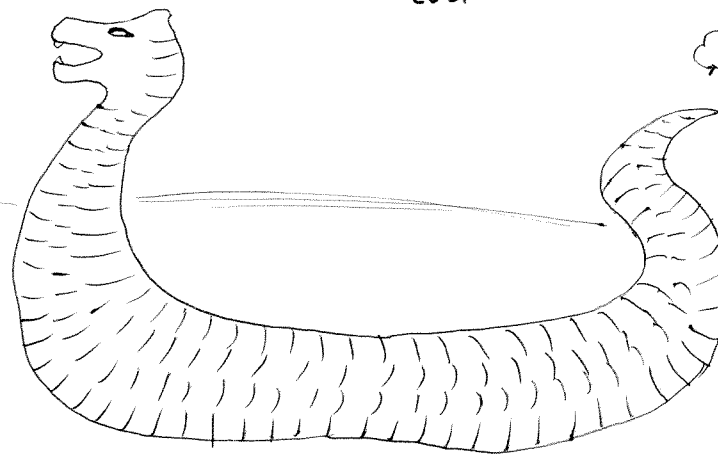


ペルー 双刀 滞在記

2012.11.9 ~ 2013.2.21



COCA



11/9 イエローナイフ ~ クスコへ!

11/9 クスコ到着

標高約3400m

約2ヶ月半ぶりの飛行機。カナダの国内線は機内食が出ないどころか、イヤホンまで有料だったので全て持ち込み。

それにしても、預ける荷物も1人50ポンド(25kg)のを1コまでというのを頑なに守るグランドホステスたち。私たちは4人だから

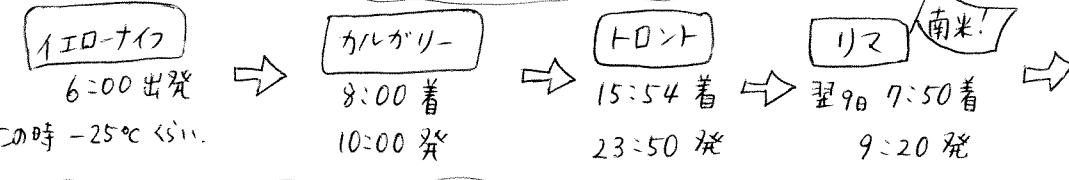
25kg x 4コ預けられるのだが、子供たちは荷物持てないし、時には

眠ってしまって自分が荷物みたいになることも。だから、私たちの荷物は

35kg x 2コになっている。でも、どうしても1コ25kg以内にしない

といけならしい。なのでチェックインカウンターで毎回のように荷物の整理をして3つのバッグに分けている。もう少し融通きいてもいいのに...

今度からはちゃんと3つに分けてからチェックインしよう。



お米2合分の他にきりこみとパン2斤分のサンドイッチを持ってイエローナイフを出たけどカルガリーくらいで無くなった(全部食べた)おそろし〜トロントでの待ち時間8時間くらいも長かった。しかもトロント空港には子供の遊び場がない!何して待とうと思っていたが、子供たちは走り回ったり、ペンキ塗りのおじさんを眺めたり、免税店をのぞいたり、Tim Hortonのドーナツ食べたりに、あまり困らなかつた。ただ、お腹が空いてもカナダドルがほとんどなくて、しかも売店高くて買えず、ちょっとむじみかた。もって食べ物を持ち込んどけばよかった... 倉庫とタラカ寝ているスキに、トキリとクッキー1枚だけ買って半分こした。おいしかった。これでカナダドルの残りが10セントコイン数枚になった。よかったよかった。

朝、リマで入国審査を受けてから(この時、「3ヶ月以内」と言っただけ、パスポートに「90日滞在可」のスタンプを押されていたのを知らなかった。「6ヶ月以内」と言わないといけなかつた。勝手に6ヶ月滞在可になると思っていた)、国内線に乗り換え、クスコへ。1時間ちょよとのフライト。

でもこの短時間で3400m(リマは約0m)上がるので高山病を心配していた。

アレキも出るというので念のためトキタラはイエローナイフにいる時に

タキアモックスを試しのみしていたが、クスコに着いてからは、タキアモックスを

服用することなく過ごせた。水をたくさん飲んで、本当に

ゆくり歩いて大きく息をはいて吸った。

1週間くらいはトキタラにもなるべく走らない

ように言っていた。走ってはいけない!

近くの別のレストラン
今度はお食

食べたばかり、
この時は倉庫か...
「クワクワ」と
高山病?

近くのレストランで
定食(お昼)

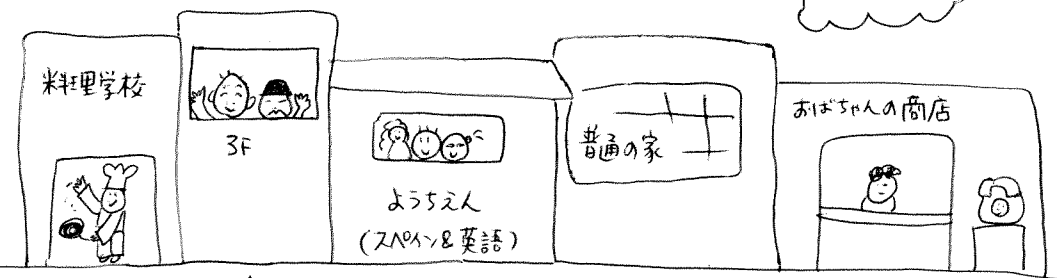
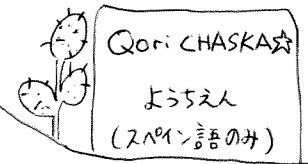
子どもたちは
「眠い」と言っていた。
高山病だったのか?

クスコの住み処
マヒステリオへ!
サンドロが迎えに
来てくれたので
スムーズに行けた。

リマから急に周りでスペイン語が使われ出して、全く分からないのにあせる。しかも、南米はドロボーが多いというので、イエローナイフで気がゆるみ、はなしたから私はまたあせる。しかし、空港に着くと、客引きなんて少ないし、いてもみんなあさり引き下がる。インドとえらい違いだなとか思いつながら、これから3ヶ月暮らす予定の家人連れていってもらう。空港にサンドロが来てくれていて日本語ペラペラしゃべれるので安心した。でも日本語をスラスラ話す外国人で何か違和感がある。サンドロも黙っていれば、南米の濃くて男前の顔をしているのに、日本語話すとか何か間抜けに見えるなあ。余計なお世話か。

11/9 つづき

イエローナイフで教えてもらった「鼻呼吸」は
しんどくなってきた。空気が薄くて鼻からだけでは
足りない! ので口を開けて寝る習慣に戻りました...



大家さんのミゲルさんに会い、一通り家の使い方など教わって。
早速、お昼ごはんを食べに表へ出てみた。街並みはほんとにステキ。
街路樹には色とりどりの花をつける木や、サボテンが植えられて、建ち
並ぶ家々もレンガ造りのとても雰囲気のあるものがかり。走っている車も
旧型ビートルが多くて絵になるのだ! あーペルーに来たのねと実感。
家の一番近くのレストランに入ってみるとこれまたステキ! 中庭があってそこに
テーブルがあり食べられる。調理場も中庭に面している。

↑
道路

↑
私たちの家

この通りの前は公園というとても恵まれた環境。ちょっと歩くと
レストラン、スーパー、洋服の修理してくれる店、甘い物屋さん。何でも
あって便利。公園に遊具はないけど、ラジコンしたり走り回りたりして
遊ぶ。しかもクソコソ一番安全なところだという。800円/月

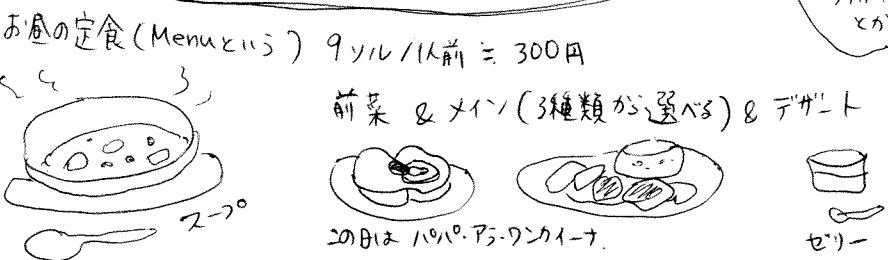
物価の高いイエローナイフから来たので、定食の安さにびっくりしつつ、それ以上にペルー料理のおいしさに
おどろいた! 盛り付けもきれいでボリュームもたっぷり。3つ定食頼んだら多くて食べ切れない程。
標高が高くて胃の働きが悪くなっているのかもしれないけれど、それにしても今まで4人で4人前
まわり頼んでも足りないくらいだった大食い家族が2人前でお腹いっぱい。何てうれしい!

夜は、また近所のレストランに歩いて行った。歩いて5分くらいの通りにレストランがたくさんある。
気軽に外食できるので色々お店に入れるなま〜と喜ぶ。このレストランでもMenuがあり、
それを頼んで食べた。この店はおばさんが経営していてワゴンな感じ。でもいい人やし。
おいしい。(1食6ソル(=200円!)) 後で分かったことだけど、夜もMenuを出している店は少なく
このおばさんのお店は、夜外食特時は貴重な店になった。夜はMenuでなく、アラカルトで!
1品10~30ソルとか! でも定食と比べると高つく。家賃で結構使っている私たちが、食費で
節約していかねばならない。と分かってはいるけれど、日本やイエローナイフとついでに比べれば、
「めっちゃ安い!」「めっちゃ美味い!」と言っては色んなレストランに入ってもらうのでした。

近の売店で水と翌朝のパンを買ってこの日は早めに就寝。イエローナイフとの時差は2時間。
ちょっと日本との時差は狭まった。それでも-15時間くらい? なかなか遠い国に来ている...



ハハ、ア、ワンキータ!
食べなからんアジン



この日は ハハ、ア、ワンキータ。

サボテンに
ラカキ
とか

LOVE
4

セリー

11/10 ~ クスコでの生活



三ツ橋の山高巾着
スカート、ふろしき背負い。
インディアナの女のムスチ

のらアムロカ
みたいのもいる。

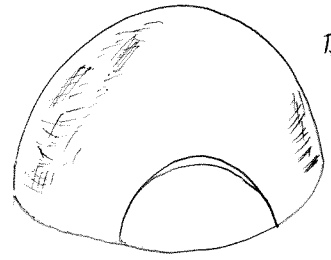
のら犬たさん
大型犬も多い。

ビートルがたさん
おじいちゃんに乗せてたり。
似合う〜!



毎週土曜日に
開かれる「泥棒市」と呼ばれる市場。
土曜日に土曜日だったので、来たばかりだけど行ってみた!
青いテントの下にひしめくように並ぶ店々。この市の名前の由来は、
盗品も並ぶかららしい。ナベ、服、電化製品、靴や注射ペン(空)
まで。何に使うのか分からないが、何でもある! すごい人ゴミで。
現役ドロボ-もいるとか。タクシーの運転手さんが「ズリに気を付けて」と
言ってくれた。色々あったけど、特に買ったものもなく、暑いので退散。

ミゲルさん家にて

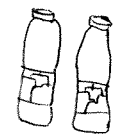


庭に石窯がある
ミゲルさん宅
ピザとかパンとか
何でも焼けるらしい。



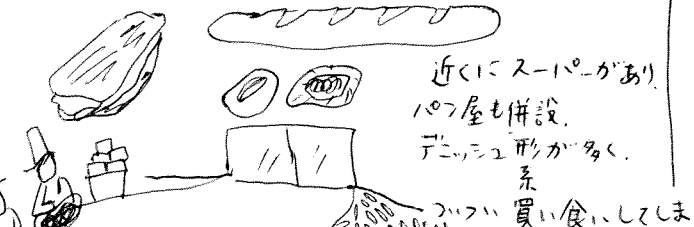
サンドロはミゲルさんの娘の旦那さんらしい。4コなのか。
サンドロの子どものサンドロ(長男は同じ名前!) 5才
とセセンター才。ちょうどトキタラと同じで、ミゲルさん家の
庭で、車に乗って遊び回っていた。16才のカミラという娘も
いる。この子もサンドロの連れ子らしい。色々あるんだな。
それ以来、このことには一切ふれない。
今は大家族で楽しそう。

ボトリン:
クスコの街に →
残る。インカの石組
がデザインして
いてかわいい。
ビールもおいしい。



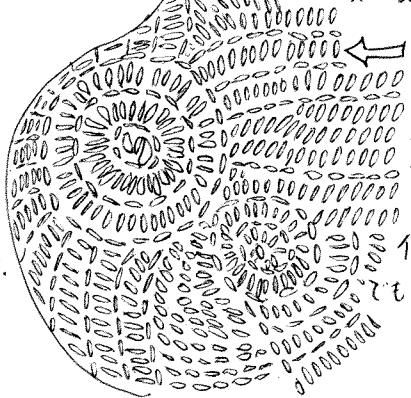
その横が
「クスケニヤビール」
クスコのビールを
呑みながら
バーベキュー
幸せ。

SUPER MERCARD



近くにスーパーがあり
パン屋も併設。
デニッシュ形が多く、
系
フワフワ買い食いしてしまう。

スーパーに
行く途中の
路上でも
おばちゃんか
(子連れ多い)
チーズやじゃがいも、
しもなど
色々売っている。



こんな風に
石を土に埋め込んだ
庭が多くある。
何かの模様か...
気の遠くなるような
作業だ。た。ら。う。
でも、とてもきれい。

近くにこんな大きな
すべり台のある公園が!
他の遊具もたくさん。
(入園料 1人 50セント)

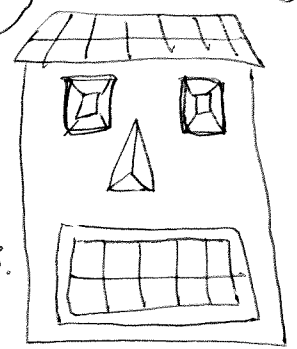


ホー
ー



トランポリンもある。
(別料金 1人 50セント)

うちの近くに
こんな家ほ、けん!
かわいい。
周囲になんか、
ステ!



ポー
ー



この公園の
千代もぎの
おばちゃん。
いつもピンクの
横じまのシャツ
にピンクのスポン
帽子もピンク。

クスクイもの事情

Kushu Cafe...

クスクイはパンが安くておいしい!
 というお洒落なパン屋が
 近所にあった。
 セントロにもある
 チェン店らしい。
 ケーキもあるけど
 高い。
 1枚600円とか
 でもおいしいから
 たまに買う。

↑
 これをだいたい毎日買って、翌朝サンドイッチにして
 食べる。
 お店のお姉さんは
 「今日もパンダ?」
 というようになった。「悪い人かい」と言いたい。

スーパーにも、毎日のように行く。
 日本のスーパーとあまり変わらない。
 でも、お肉はパックでなくて、計り売り。



肉売場のお姉さんに
 「この部位を〇グラム」と頼む。
 最初、数字を覚えておらず!
 となりえず「その半分」という
 言葉を覚えた。だいたい
 私たちには多すぎ。

鶏丸ごとの
 おりの週りに →
 モミジが
 つまみされている
 何という売り方。



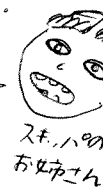
↑
 とりガラ = 1つ1~2リル。
 ←モミジ = 8~10本で2リル!!
 恐ろしい...

乳製品は、ヨーグルトくらいしか冷蔵庫に入っていない。
 ←こんなドリンク式、どれも味つき甘い。
 砂糖ゼロを探すのに苦労する。
 1kg = 4リル (120円くらい)。
 果物、野菜もだいたい計り売り。パック入りは
 古くなったやつを入れているっぽい。
 日本の1/3くらいの値段。



牛乳は、紙パックか、ビニール袋入りで
 常温で1年位もつらい。フジキ
 印も常温。バター、マーガリンは冷蔵庫
 (といっても常温扱い)に置いてある。

トキ
 アラ

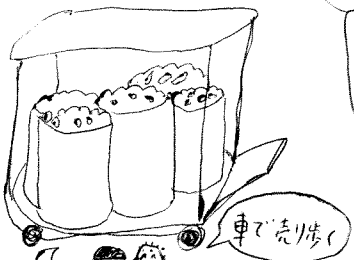


店員さんにも
 覚えられて、行くたびに
 かわいがるトキアラ
 でも、トキアラと遊ぶすぎてお姉さんクビに...?

毎週土曜に TUPACAMARU
 広場 (TUPACAMARU) という1980年の
 先住民反乱の指導者
 でも市が立つ。
 クスクイ近郊の町は毎週〇曜日
 市が立つ、というのが多い。



ポテト
 大量に
 売られてる。
 1袋
 TOHOの
 Mサイズくらい
 1リル
 (毎朝のおやつ)



セントロの近くか、となり町のサン・ハロエモという所に
 大きな市場があり、余裕のある時はそこへ
 人が多く、スリも多いというので、余計な荷物は持たずに、



市場では ケーキやフルーティジュース、フルーツサラダなど
 スイーツもたくさんあり、歩いて回って、それらを食べる
 のが楽しみ。



他に、バケツの中から
 野菜盛り、ポーチみたいなもの
 も出てくる。食べたことない
 けど、地元の人にはよく食べ
 ている。



市場の一角に小さい
 帽子屋さんが
 売っているおばちゃん
 やインディアンの人たち
 がおる。山高帽が
 ところ狭しと並ぶ。



ソラ豆、むいておいて
 1袋1リル 安い!
 何でも使えます。
 トキもソラ豆大好き。
 にんじんやじゃがいもも
 切ってるのを売ってる。
 売り子のおばちゃんか
 合間に切っている。
 働かきもの!

売っているおばちゃん
 もインディアン
 なんだよ



肉蔵系、トキ 買わないけど
 見ておもしろい。
 ウシ、ロセヤキの頭もある。
 スープに入れるんだって。
 だいたいのレストランのスープの
 たいは、3リルくらいで取ってるらしい。
 かつスープ
 のでいたけど、
 買ってないから知らなかった。
 でも、ある日朝ごはんに入った
 食卓で出てきた。



額入り(お)
 スープ
 6リル



チーズ売りのおばちゃん
 アボカド3つで
 3リルくらい。(90円)



1kg 115という値段
 アボカドは
 フルーツコーナーにある。
 1kg 8リル

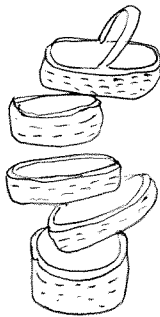
トキが好きな
 なのでよく買う。

大きなチーズ1kg 30リルくらい?
 小さいのをちぎって、スープに使う。
 地元の人には1kg 10リルとかも

スカートがぶわぶわしている。
 気持ち良さそう。倉りくんは「甲に何
 が入ってるんやろ」と言っていた。

カゴ屋のおばちゃん

マシオンの
 ように話しかけ
 てくれるか
 全然わからない
 1kg 3リルなのは
 分かった。家の仕分けに
 使っている。



クスコ週末旅行



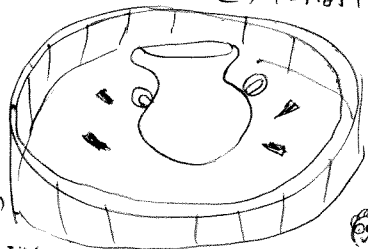
クスコでは着いてすぐからトキヲウがようち園に「行きだしたので」
毎日同じようなスケジュールで動き「あー旅行に行きたい」と思うように。
世界一周中だけど、毎日同じだと「旅」でなくなるんだなーと実感。
土日を利用して、クスコの近くの町へ1泊、日帰りと出かけたリした。

ウルバンバ



クスコからバスで1時間半くらい。
1席4ソル(小さいバスと思う)

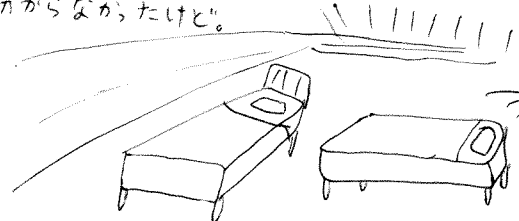
「地球の歩き方」にも、ほとんど「情報」がなかったけど、「焼きき物」で有名というので行ってみた。バスは、子ども分の席も買ってきたが途中で「どんどん」人が乗ってきて「ぎゅうぎゅう」になったので結局ヒザの上でも、インドのバスと違ってちゃんと予定通り1時間半で着くので楽らし。



地図もなく、適当に歩く広場の噴水が「焼きき」ものでできている！
やはり、ここは焼ききもの町。



期待して工房に行ったら、並んでいたのは派手な毛布のようなものが「かり」。女子みじかない。(かも、この町にある他の工房も、ここは弟子ばかりで、だいたい同じようなものだから、どこにあるか分からなかったけど)。



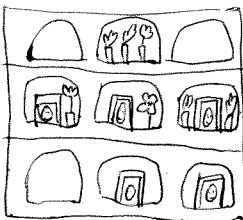
この日の宿は、屋根裏の部屋のようなところ(30ソル)窓は開かず、朝はニワトリにまじこされる。

「焼きき」ニワトリ、部屋も、屋上にあり、従業員部屋みたい

ヒサ、ク

クスコから40分くらい
バス代、2.5ソル

ヒサ、クもウルバンバも聖なる谷(インカ時代の中枢をなした所)



立派なお墓(墓地?)があった。

マンション式のお墓、それぞれの遺影がかざらされており、お花が添えられていて、日本のお墓みたい。まだ空いてるスペースもある。

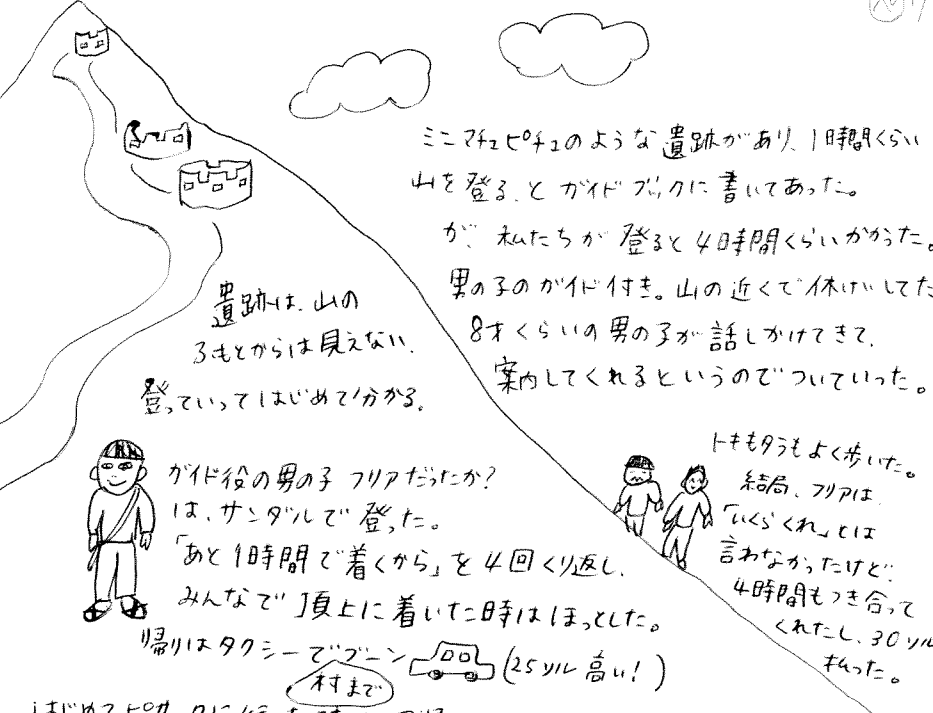


この人たちはみんな女性がお墓をかついでいた。

ちょうどお葬式に通りがり、行進を見ることができた。にぎやかな音楽が聞こえてきたので、ついていってみると、棺おけをかついで、お墓に行く所だった。お花や飾りを持って楽器を演奏する人がいて、何となくお祭りのような雰囲気だった。



バス停の近くに「ポル」が！
おとの子



ミニマムヒサのような遺跡があり、1時間くらい山に登るとガイドブックに書いてあった。が、私たちが登ると4時間くらいかかった。果の子のガイド付き。山の近くで休んでいた。8才くらいの男の子が話しかけてきて、案内してくれるというのでついていった。



ガイド役の男の子「フリア」だにか？は、サンダルで登った。「あと1時間で着くから」を4回くり返し、みんな「頂上に着いた時はほら、ほら。」

帰りはタクシーで「ブーン」(25ソル高い！)村まで



はじめてヒサ、クに行った時は、日帰り、2回目は1泊した。泊まったのは、中庭のあるホテル。1泊30ソル。快適だった。2回目なので、遺跡には登らず、近くの火田のまわりを散策した。



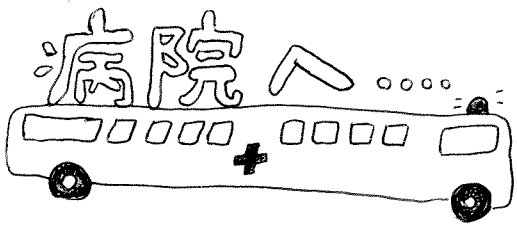
トキヲウは、サンタさんにもらったばかりのサッカーボールで遊んでいた。そして、大事件発生...

アラ、犬に噛まれる!!

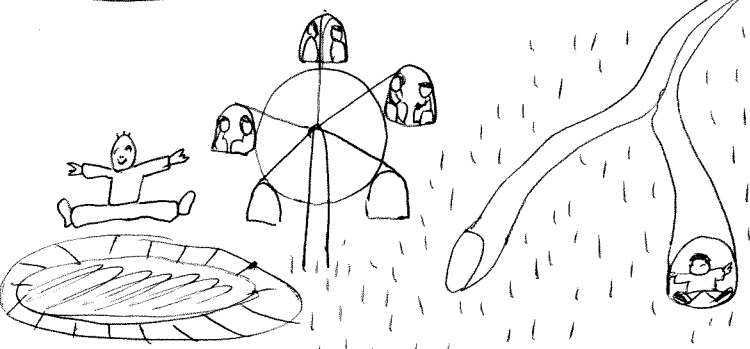


さっきワンワンに手かまれたよ

ホラ



タラが「ピサク」で犬にかまれたので、狂犬病が心配で病院に行った。(ピサクで夕方かまれ、その夜はピサクで1泊) クスコで一番長いこと住んでいる(?)日本人の直子さんに相談して「マックサル」という家の近くの大きな私立病院に行くことに。



家からタクシーで10分くらいの所に「ハルケウルピチ」という、遊園地のような公園がある。(入園料0.5円/人) 芝生があり、観覧車、トランポリン、メリーゴーランドなど子供が喜ぶものがいっぱい! その中でも大サハリ台がトキタラは面白かったよう。何度も長い階段を登ってはサハリ降りてきた。

そのうち、トキゾーが血をたらし戻ってきた! サハリ台へ行く途中の階段で転んだらしく、血は口びるから出ているよう。大泣きするので、とりあえず家に帰って、くわしく見てみると、口びるの内側がはぐりかいてる! とても痛そうなので「マックサル」病院にまた行くことに。

この日は、日曜日! 電話をかけてもつながらず。前回タラの時の領収書の番号にかけて、せとつなげられた。英語は通じなさそうだが、人はいるようなので行ってみた。

まず、英語が通じるカウンターに行き(その前に、「今から行きます」と電話をして) パスポートや症状の確認。それから、先生の所に通された。

タラは犬好きで、しかもアヒロいや、動物全般が大好きで、いつでも角虫りたいと思っているのだ。今回もタラから犬にちよ、かいを出したもよう。これから一層注意しておかなければと再確認させられた事件だった。

180リットル = 5,400円



先生はウリアムと言った。セキをしていて、マスクをしていた。英語を話すが、あまりよくわからなかった。よく分からないまま30分くらい待たされ、診察室へ。タラの手を見てくれた。

何も無いことを心配するな。だまれ静かにしろ。

直訳すると、このようなことを英語で言って、診察は終わった。何の専門医かも、辞書になくて分からないまま... とりあえず「ドクターが大丈夫」というので「まあいいか」という感じ... のが...

麻酔が切れたら痛がるだろうな... と思っていたが、その日の夜はおかゆを食べ、翌朝にはトキ何でも食べれる! と言い、すぐ元気になった。よかったです。傷口も溶けるまで1週間くらいできれい。もう病院には行きたくない。

打!

今度は、英語の通じるカウンターはなく、受付の人に、多分のスペイン語でトキゾーの口を見せつつ状況を説明すると、奥の建物へ案内された。

あるとりに... おじいさんと... 倉くんが付き添い、お話をしていた。

処置室のような所で、先生がぬってくれた。30分くらいで終わった。トキゾーは泣き止まず... えらかった。

235リットル = 約74円

「薬局へ行って」と言ってるようなので、指示書を持って薬局へ。針や糸、麻酔を買った。手術用品は自分で買いたい。

Farmacia

英語はほとんど通じないが、トキゾーを見て、トキパキ指示書のようなものを書いてくれた。どうも「縫合、軽傷、3針」と言っている。

30分くらいしてドクターが来た。

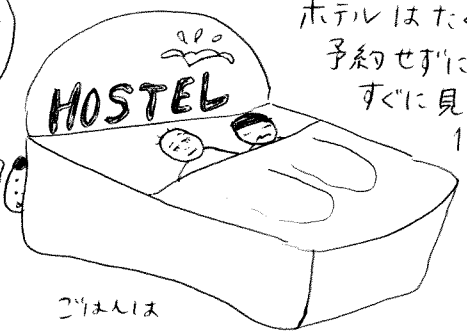
マチュピチュ



遺跡に興味はないと思う。
南米に来て、しかもクスコにいるのに
行かずにはおれなかった...

電車、マチュピチュチケットは、
ガイドなしで
600円/4人くらい

ホテルはたくさんあって、
予約せずに行ったら
すぐに見つかった。
1泊60ソル



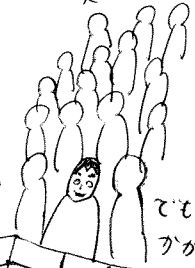
ごはんは
どれもあまり
おいしくなかった。
観光客向けな感じ。



PIZZA など

やっぱり観光地、雨季でオフシーズン
にも関わらず、たくさんの人だった。

ズラーっと入ロヤ
バス乗り場に
並ぶ人たち。
トイレも並んでた。
でも、そんなに時間は
かからず進み。



マチュピチュは山の上
なので、子どもたちは
レインコートを着ていた。
朝一番でいらしたので
あまり降らなかったが、

見たことのある風景そのものだった。
でも、そこで自分の子どもたちの写真を撮らせてうれい。



しかし、
マチュピチュでの
一番の楽しみは実は
温泉だった。

ホテルから歩いて10分くらいの所にある。
水着で入る。しかもぬるいので本当に温水
プールのような温泉だけれど、この数ヶ月、
シャワーばかりの私たちには嬉しいかぎりだった。

さむい
でもぬるい



トキとタラは、メキシコ人のお父さん
の背中に乗って泳いでもらった。
このお父さんは5人の子どもがいる
慣れているんだろうか。
ゆくりつかれた。
ありがたい。



着いた日も、その
次の日も入った。
1人10ソル(300円)



クスコ〜マチュピチュ間は
電車が通っている。窓が天井にも
ついていて、向かい合わせのテーブル付席
で快適そう!なので電車でいった。

てっぺん家族4人でテーブルを囲めると思っていたら、
バラバラの席だった。約3時間の車中、特にすること
なく、1人でぼーっとしていた。トキとタラは2人で隣に
座れて、楽しめたようでよかった。この電車は、運行して
いる会社が勝手に席を決めてしまうようで、なかなか
同じグループで一緒には座れないとのこと。でも、
帰りは同じ車両の人たちが自分たちで都合の
いいように席を交換して、全員が思い通りの席に
座れた。私たちも4人一緒に座れた。みんなワーッと
拍手して喜んだ。

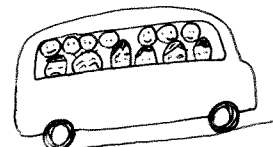
マチュピチュ遺跡はやっぱり
おもしろかった!子どもたちにも。
トキとタラは、「石のお部屋でかくれんぼ」
が楽しかったと言い、タラは、水が
流れてくるのが興味深かったよう。
広いので一周するだけで数時間かかる。
絶壁のガケを登って山にも行けるらしいが、
子どもと一緒にでは危なそうなので登らず。
登ってみたかたような、行かずに済んで
ホッとしたような。

ふと気が付くと、
トキとタラは、マチュピチュの中で
僕とおじさんに混じって
芝生の整備をしていた。



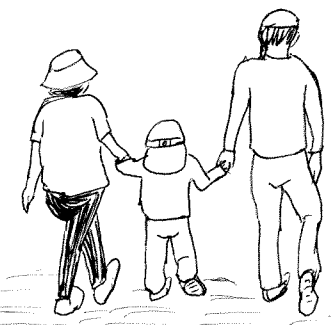
マヌ-国立公園

3泊4日のツアーに申し込んで、私たち家族の他に、ロシア人4人グループ、デンマーク人2人、ドイツ人カップル、サハリンのおじちゃん1人、合計13人+ガイド2人、ドライバーの旅になりました。



ワスコから車で10時間、大量のおやつと水を持って、途中、ガケくずれがあったらと、ちよと停まったが、他はスムーズだった。子供たちも寝たり景色を見たり、お別れ退屈しなかったよう。

トキモタラも、よく歩いた。ジャングルの中を大人と同じに、何時間も。他の人たちも「えらい！不満も言わず」などとほめてくれて、子連れで参加して、迷惑をかけてるんじゃないかと思っていたので嬉しかった。



この旅行中、トキモは色々な人に手を繋いでもらったり、夜はチェスやランプで遊んでもらったり、大人たちよりよほど外国人の人と仲良くなっていた。ツアーのどの人も、子供に優しくしてくれてよかった。歩くペースとか、合わせるの大変だろうに...

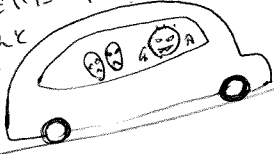


かわい葉っぱだったので、写真を撮っていたら、ロシア人が「日本は昼に月が出ないのか？」だって、たしかに月も出ていた。

It's my dream!



バスの中は、だいたい平和だったけど、デンマークのお兄さんとロシアのおじちゃん、急にケンカした。



ロシアのお兄さんが「休けい中いなくなりました、しばらく車で進んでみるよ」



なまこ走って、だいたい前に進んでいた。そして車に戻ると、

宿泊地ロシアまでは船モーターボート



トキモタラにはライフジャケット大きすぎても乗れる。てまこー



倉川はラフティングに参加、子供は危いので出発を見送って、ゴンドラ地点まで車で移動。

カピバラもいる。どのコも、だいたいこの日は見られず。



最終日に寄った、重たい保護施設で見た。そこではアマケモノもいた。英語でも負けるの、という意味の名前だった。



イカの上のなかに乗って池も渡った。倉川がこぼれ、ゴツゴツつかむまで難しそう。



樹齢400年以上の大きな木、上はせみせみ見えない。



でも、たぶんの人に知られてイヤなのが、木から木へと滑り落ちていってしま...



ジープライン

ジャングルの中の木から木へ、ロープで絡んで、ラコをビューン！と渡るあそび。楽しい〜と

聞いていたが、高さが100メートル以上、スタート地点に立つと、もう足がガクガクした。「本当にやるの〜」と思いながら、一度やってみるとめっちゃおもしろかった！子どもたちは、ガイドさんと一緒につないでもらってやった。トキモ、一番手だったから、私も倉川より、ずっと落ち着いていた。タラも楽しかった。またやりたいと言っていた。



習いごと

～規則正しい日々～

年が明け、やっと創くんも私も習い事をはじめた。
 子ども達がようちえんに行っているあいだ。実はヒマだった。
 なので、年明けにまたようちえんがスタートと同時に、
 午前中はスペイン語を習いに、午後は私だけ編み物に。

5:30 起床 (創くんを起こしてもらう)
 スペイン語の勉強・宿題をする

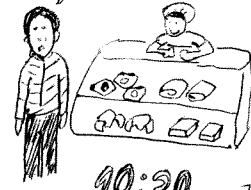


今日は
どのパンに
しようかな



6:00 トキゾーが起きてくる
 「お腹減ったよ」と言うので「前日に買っておい
 たホロフコンみたいなおかしを一条者に食べる。
 7時までにはトキゾーは一人で遊ぶ」

お腹痛いー



7:00 勉強おわり。朝ごはんの準備
 創くんはトキゾーと遊ぶ。または
 トキゾー一人でパソコンで調べたり(遊んだり?)



7:30 トキゾーがタラを起こす。
 「ごめんごめん」と言う
 起きるらしい。「ごめんごめん」だと。
 「ごめんごめん」で起きると言うらしい。



7:40 朝ごはん
 語学学校の近くにおいしいパン屋
 さんがあって毎日そこで買って、
 翌朝のサンドイッチにする。
 トマトとチーズをはさむ。



8:00 トランプをして遊ぶ。(4人で)
 そのあい間に洗たくしたり、
 お皿あらい、
 出かける準備



8:00 ようち園に送りに行き、そのままスペイン語学校へ。
 12月に行っていたようち園とは逆となりのようち園へ。

歩いて1分。今回のようち園は2人とも泣くことな
 走って行き、「プレスタテアス!(おはよう!)」
 と元気にあいさつする。初詣創くんも私も
 コレクティブに乗って行く。(0.6ソル=約20円、
 97シダと4ソル=約120円)

9:00 学校の近くのパン屋さんへ寄り、
 おやつと明朝のパンを買って学校へ。
 授業が始まるまで予習したり、
 インターネットをしたり、パンを食べたり。

10:30 スペイン語の授業
 毎週先生が変わった。グループとプライベート
 があるが、私たちは時間があまりないので、
 (グループは毎日4時間) プライベートで、
 2人で1時間 16本 × 1日2時間 × 5日
 ⇒ 1週間で160本! なかなか高かった。
 でも、どの先生もちゃんと教えてくれて、私たちの
 スペイン語は一気に上達した。

もう
うがたー



12:30 授業終了。コレクティブに乗って帰る。



13:00 ようちえんお迎え
 ついた。粘土で
 描いた絵。毎日ある。
 今日のおかし
 はパン
 だったー



13:00 5分で帰って、お昼ごはんつく。
 パスタやチャーハン。食べに行きたい時は
 近くの食堂に行く。MENUというランチ
 (6ソルくらい)を3つ頼むとお腹いっぱい。

14:00 創くんはお昼寝。子どもらはだいたい
 起きて2人で遊んでいる。
 私は15時から編み物の教室なので、
 寝られず。おやつ用にサツマイモをぶかし
 たり、スペイン語の復習したりする。



15:00 編み物の教室。スペイン語しか通じなかつた
 けど、何とかセーター編めた! 複数の
 おばちゃんに囲まれて、スペイン語の練習に
 その間、創くんも子どもたちもトランプや
 家の前の公園でサッカーしたり。



18:00 家帰り。すぐに夕飯の仕度をする。
 トキゾーはお昼寝とあまりしない
 ので、食べながら寝る。



20:00 トキゾーの寝る準備。
 歯をみがいて、オムツをはく。トキは布おむつ
 タラは布だとおしりが荒れたので紙おむつに。
 毎晩おねをするので洗わなくて済んでラクテン。
 トキはもうほとんどしない。たまにするのはいるか!



22:00 寝る。至福の時。
 子どもたちが寝たあとは、またスペイン語の勉強
 したり、おやつを食べたり。
 でも、疲れていてあまり長くは起きていられない。
 早寝早起きで体調もくずさなくなってきた!



イベント in CUSCO

新年

飲み会

誕生日



1/9 たら4歳に。

アヒも良くなって、狂犬病と発症せずに迎えられるよかったです。当日のお昼はセントロの日本食レストランに行き、お寿司を食べた。(タラのリクエスト) 夜は、編みもののおばちゃん2人が祝いに来てくれた。

3つくらいして、4オになる。Eは3オ



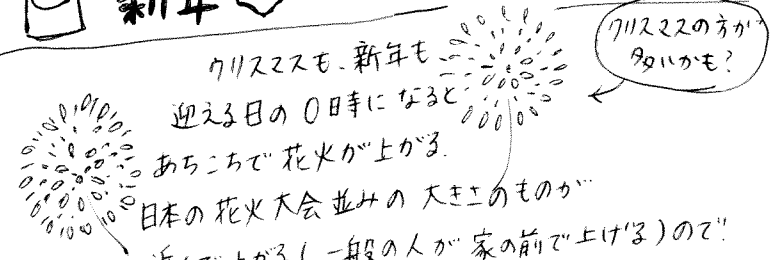
タラのお祝いだから、かざりつけるー



私たちから、カレー3オ (笑)

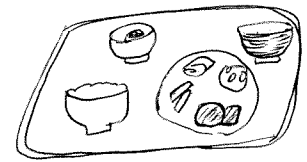


トキとタラにステゴサウルス型の帽子をプレゼントしてくれた。



クリスマスの方が多いかも?

クリスマスも、新年も迎える日の0時になると、あちこちで花火が上がる。日本の花火大会並みの大抵のものか? 近くで上がる(一般の人が家の前で上げる)ので、迫力満天。家からホッホッ上がる花火が見えた。そして、道にはやはり色々な露店が出る。花火やパンネンというケーキ (パンみたい) 下着(黄色いものを新年に身につけると縁起がいいらしく、売ってるのは全部黄色) などなど。でも、住宅街は静かだった。みんなゆっくりしてるのか? キリスト教徒にとっては、新年よりもクリスマスのお祝いにエネルギーを使っているよう。



1月2日には、セントロの"フカラ"でおせち定食が! ハーレーでおせち食べられて幸せだった。

クリスマス

私たちは特にすることはなかったが、地元の人たちには1年で一番大きなお祝いみたいで、市場は何日も前からにぎわっていた。日本のお正月みたい。24日は、

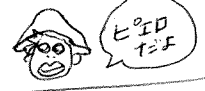


"ナシミア"というクリスト生誕を再現したお人形たちが飾られる。

フロサデアルマスで"ナシミア"という飾り物がにぎやかに開かれる。全て、木や鉄で作られた。しかも、いざメイトのものらしい。おじいになるのだらう、ちゃんとトイレが外に増設してあった。



パル一人の誕生日



サンドロの息子のサンドロ(同じ名前、めずらしくない。長男はパル一人、同じ名前が習慣なのだそう。長女はマタの名前) がパル一人になる誕生日会によばれて行ってきました。



夕方4時ごろにはじまって、ピエロがやってきて、3時間くらい楽しませてくれる。メインはピエロというかんじ。踊った子にプレゼントを配って、トキゾーも一生懸命跳びはねていた。ピエロの作品手帳たり。えらい。お父さんも何人来てた。家族でお祝いに来るんだな、日本では子供の誕生日会に友達のお父さんなんて絶対来ないだらう。帰りはお返しプレゼントももらってトキタラ大喜び。サンドロは金持ちの子だ。

サンセバスチャン



CHIRIUCHUというお祭り料理。クヤ鶏やジャガイモ

クスコの隣の町のサンセバスチャンで、「次の日ようはお祭りだ!」と編みもののおばちゃんか言っていたので、私たちも行ってみた。朝から行ったらけど、もうずいぶんだった。町全体がお祭りで、屋台もたくさん。みんな朝方からビールを呑んでいる。



しほらしくすると、街を踊りながら進む人たちが、きれいな衣装を着て、楽隊と共に進む。各地から来ているらしい。クスコにペニャという伝統舞踊?を見ながら食べるレストランがあるが、そんなところへ行かなくてもきれいな踊りが見えた!